

固形癌でのニボルマブによる免疫関連副作用の発現状況に関する研究

1. 研究の対象

2015年12月～2018年6月までの間に、当院でニボルマブを投与された方

2. 研究目的・方法

ニボルマブは免疫機構へのブレーキを解除することでがん細胞を攻撃するT細胞の働きを維持する薬です。悪性黒色腫、非小細胞肺癌、胃癌など多くのがん種に有効が示されていますが、免疫関連副作用（以下、irAE）の発現が課題となっています。そこで今回、大阪市立総合医療センターでニボルマブを投与された方のirAEの発現状況を調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:患者さんの状態、年齢、性別、化学療法歴、有害事象、腎機能、肝機能の臨床検査項目等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所:〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2-13-22

電話:06-6929-1221

地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

薬剤部 藤本 亜弓 (研究責任者)